

留 学 報 告 書
-----------

記入日:2017年6月25日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: エドモンズコミュニティカレッジ 現地言語: Edmonds Community College
留学期間	2016年9月～2017年7月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年7月10日
明治大学卒業予定年	2018年3月

留学費用項目	現地通貨 (アメリカ \$)	円	備考
授業料	\$7,548	860,000円	その他教科書など\$500前後
宿舍費	\$7,425	850,000円	
食費	\$1,600	180,000円	
渡航旅費	\$2,800	320,000円	日本←→シアトルとシアトル←→DCの旅行
その他	\$2,000	220,000円	洋服や生活用品、バス Uber など
合計	\$21,373	2,430,000円	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
	大学の寮
2)部屋の形態	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 )
3)住居を探した方法:	
	明治大学の紹介、学校のホームページ
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
	学校のホームページで見るとより清潔ではありません。またハウジングオフィスの対応は必要最低限で、すべて自己責任です。
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input type="checkbox"/> 利用した:
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
	日本人の留学生アドバイザーがいるため、寮でのトラブルがあったときには彼女に相談しましたが、学内以外の問題は寮であっても自分で解決しなければならない印象でした。
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
	シアトル大使館からのメールには注意していましたが、そのほかは日本にいたときと同じで、最低限のこと以外には特に対策をしていませんでした。
4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
	寮のwi-fiは有料ですが、接続が悪く全く繋がらなくなることも多々ありました。wi-fiを使うためにスターバックスに行くことも多かったです。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
	銀行口座は開設せず、ほとんどクレジットカードで支払いました。留学期間が予定より長くなったため一度現金を引き出しましたが、基本的に現金は最初に持ってきた約1,000ドルを1か月に100ドルくらいずつ使いました。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
	日本のメーカーの化粧水はアメリカで買うととても高く、アメリカの製品で化粧水は見つかりませんでした。ボディクリームや日焼け止めはアメリカでも手に入りますが、化粧水は持っていくことをお勧めします。
7)授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)	
	クレジットカードで支払いました。3クォーター留学したため、9月、12月、3月の3度支払いました。
卒業後の進路について	
留学を通して生じた、今後の進路についての考えについて教えてください。	
	以前から日本手話を勉強しており、アメリカ手話のクラスを目的に留学しました。アメリカ手話のクラスで素晴らしい先生、友人と出会うことができ、以前は日本で手話の道に進むという決心がつかなかったのですが、帰国後は通訳士と手話の教師を目指そうと考えています。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
45単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位(未定) <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
EAP121	英語
科目設置学部・研究科	English for Academic Purpose
履修期間	2016 秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が4回
担当教授	John Eric Sherman
授業内容	Writing の基礎。明治大学の Academic Writing のような授業です。
試験・課題など	毎日課題がありますが、Writing や文法が苦手であればそこまで難しくないとはいえず。中間、期末は試験ではなく Paper です。
感想を自由記入	明治大学の英語の授業と内容はほとんど変わりません。他の国からの留学生の友達ができて良かったという人もいますが、クラスの仲の良さには先生により差がありました。4年制大学への進学を考えている留学生は、英語の授業が必修であるため、勧められるがままに履修してしまいましたが、短期留学生は必要ないため、取りたくない場合は履修登録の際にきちんと伝えて下さい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
American Sign Language 121	アメリカ手話
科目設置学部・研究科	Modern Language and Culture
履修期間	2016 秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・実技(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が4回
担当教授	Richard A. Jacobs
授業内容	アメリカ手話の基礎文法とボキャブラリー。ろう文化や歴史、問題について。
試験・課題など	実技(Expressive Skill)と読み取り(Receptive Skill)それぞれの中間試験、期末試験。期末試験はさらにペーパーテストがあり、ろう文化についての教科書からの問題。
感想を自由記入	私はアメリカ手話を学びたくて留学したため、ろうの先生の授業が受けられることが、毎日本当に楽しかったです。授業内で声での会話が禁止されているため、英語の Speaking 力を伸ばしたい人にはおすすりできません。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cultural Interaction	文化の相互影響
科目設置学部・研究科	International Studies
履修期間	2016 秋学期

単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が2回
担当教授	Bill Bettencourt
授業内容	文化がどのように発展し世界に広まっていったか、古代の文化がどのように現代の文化に影響を与えてきたかなど。
試験・課題など	教科書からの小テスト、レポート約6回
感想を自由記入	1クォーター目で履修したため、読まなければいけない教科書の量が多く、また週末に書かなければいけないレポートも多く、大変でした。グループ発表などもあり難しい内容ですが、やりがいはあると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English 101	英語
科目設置学部・研究科	English
履修期間	2016 冬学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が4回
担当教授	Dan Hurley
授業内容	基礎に加えよりレベルの高い Reading と Writing。
試験・課題など	1,000 字前後のレポートを 3 回提出しました。中間、期末のテストは授業に出席して、教科書をきちんと復習していれば、ほぼ満点がとれる程度の問題です。
感想を自由記入	EAP と同じく、短期留学生は履修する必要はありませんが、次のクォーターで履修したい授業の Requirement だったため履修しました。EAP よりレベルが高く、英語を勉強している、と感じ、やりがいがありました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
American Sign Language 122	アメリカ手話
科目設置学部・研究科	Modern Language and Culture
履修期間	2016 冬学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・実技(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	Richard A. Jacobs
授業内容	ASL121 と同様。さらに詳しい文法とボキャブラリー。
試験・課題など	ASL121 と同様。
感想を自由記入	ASL121 と同様。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Music 101	音楽
科目設置学部・研究科	Music

履修期間	2016 冬学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・実技(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	Debra DeMiero
授業内容	譜読みやリズムなど音楽の基礎、聞き取りのトレーニング、ピアノ、クラシック音楽の文化と歴史。
試験・課題など	何回か小テストと、期末はペーパーテスト、聞き取りテスト、ピアノの実技があります。もともとある程度音楽に触れている人には難しくありませんが、全くの初心者には難しいと思います。
感想を自由記入	私は音楽が好きなので、英語で学ぶことができ楽しかったです。他の授業に集中したい、楽しみたいひとは勧められますが、挑戦的な難しい授業ではありません。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
American Sign Language 123	アメリカ手話
科目設置学部・研究科	Modern Language and Culture
履修期間	2017 春学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・実技(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が4回
担当教授	Richard A. Jacobs
授業内容	ASL121,122 と同様。さらに詳しい文法とボキャブラリー、手話表現など。
試験・課題など	ASL121,123 と同様。
感想を自由記入	ASL121,123 と同様。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Interpersonal Communication	対人コミュニケーション
科目設置学部・研究科	Communication Studies
履修期間	2017 春学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション、ペアワーク(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 4 回
担当教授	Torres Jasmine
授業内容	コミュニケーションの定義や分類などの基礎と実践。より良いコミュニケーションとは。
試験・課題など	2 週に一度ほど、資料を読んで分析、または映画を見て分析などの課題、クラス内で2度のクイズ(テスト)、期末試験。
感想を自由記入	Speaking の向上のために履修し、実際に話す機会が多く、少しは上達したと思います。課題が多く大変でしたが、レポートなどではなく、クラス内でのディスカッションのための準備という形なので、かかる時間は人によると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
---------------------	-----------------

Public Speaking	パブリックスピーキング
科目設置学部・研究科	Communication Studies
履修期間	2017 春学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	スピーチ、(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 2 回
担当教授	Torres Jamine
授業内容	スピーチの方法、コツ、power point などの効果的な使い方とスピーチの実践。
試験・課題など	授業内で 4 回のスピーチ。筆記の試験はなし。
感想を自由記入	Speaking 力の向上と、人前で話すことに慣れるために履修しました。夜のクラスだったせいか、生徒のモチベーションが高く、フレンドリーで楽しいクラスでした。他のクラスでは英語でのスピーチをする機会はそんなに多くないと思うので、スピーチのためのクラスでみっちり学ぶことができて良かったです。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2015年 1月～3月	TOEFL 勉強
4月～7月	TOEFL 勉強、受験
8月～9月	TOEFL 受験
10月～12月	出願準備、出願、学内選考
2016年 1月～3月	留学経験のある友人や先輩に話を聞く
4月～7月	歯の治療、病院で1年分の薬をもらう
8月～9月	荷物の準備、買い物、出発
10月～12月	秋クォーター中間、期末試験
2017年 1月～3月	冬クォーター中間、期末試験
4月～7月	春クォーター中間、期末試験、成績証明書の発行
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

<b>留学しようと決めた理由</b>	大学入学以前から、在学中に留学することは決めていました。英語とアメリカ手話を、実際に自分がその文化の中に入って学びたいと思ったことが主な理由です。また、海外から日本を見てみたかったこと、アメリカの個人を尊重した文化に直に触れたかったことも大きな理由です。
<b>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</b>	留學生生活が始まってからは、単語をわざわざ勉強する時間がないため、単語力は上げておくと良いと思います。
<b>この留学先を選んだ理由</b>	まずアメリカの大学に1年間留学したいと思い、コミュニティカレッジに絞りました。アメリカは日本と違い、障がい者を始めとするマイノリティの人々が暮らしやすい法律や制度が整っているため、その環境を実際に見て話を聞きたいと思いました。また1年間かけて英語もアメリカ手話も上達させたいと思い、アメリカ手話の授業があるカレッジの中から、留學生に対するサポートが充実しており、寮もあるエドモンズを選びました。
<b>大学・学生の雰囲気</b>	コミュニティカレッジは校舎も小さく、学生も少ないため、アメリカの大学と聞いてイメージする学校とは違いましたが、少人数の教室で先生が一人ひとりをきちんと見てくれる授業を受けることができ、とても良かったです。ただ、留學生があまりにも多いとは感じていました。私がとった授業には留學生はそんなに多くいませんでしたが、専攻によっては留學生だらけ、または日本人だらけということにもなると思います。
<b>寮の雰囲気</b>	初めのクォーターでルームメイトとトラブルがあったことから、その後ルームメイトが変わってからは、トラブルのないように互いに干渉しすぎず過ごしていました。私の住んでいた寮は、21歳以上のみ入ることのできる寮なので、寮生が皆大人で友人等と外出していることも多く、私も含めイベントに参加している人はあまりいませんでした。
<b>交友関係</b>	留学当初は、休日に遊びに行くような特別に仲のいい友達ではできませんでした。個人的に、留學生同士でつるみたくなかったため、その後も無理に友達を作ろうとはしませんでした。留学後半で留學生ではないとても仲のいい友達ことができました。1クォーターはあつという間なので、なかなかクラスメイトと仲良くなることはありませんでしたが、3クォーター続けて授業のある、アメリカ手話のクラスで多く友達ことができました。私はパーティーや大人数で遊ぶことが好きではないため、周りの留學生に比べて友達を作るのに時間がかかってしまいましたが、その時だけの繋がりになるよりも良かったと思っています。
<b>困ったこと、大変だったこと</b>	最初のクォーターで、ルームメイトの行動(彼氏を泊ませる、夜中まで音楽を流す、人の食べ物を食べる、バスルームの使い方が汚いなど)に困らされていましたが、初めて海外で他国出身の人と暮らすので、「これは文化の違いなのか？我慢するべきなのか？」と思い、なかなかハウジングオフィスに相談に行けませんでした。
<b>学習内容・勉強について</b>	私はアメリカ手話に重点を置いた勉強をしていたため、あまり参考にならないと思いますが、授業後や土日に友達と一緒に練習したり、Deaf Social やイベントに積極的に参加して、授業外でもできるかぎり手話の勉強をしていました。Communication Studies の授業を2つ受け、どちらも Speaking の向上につながったと思いますが、課題が多く周りの学生のレベルも高いので大変でした。しかし、どの授業でも意欲を見れば先生が丁寧に対応してくれるので、できるかできないかよりも、やる気の問題だと改めて感じました。
<b>課題・試験について</b>	クラスや先生によって、ばらつきがあると感じました。課題も多くテストも難しい授業もあれば、簡単な提出物が主なクラスもありました。課題が多くても、3つか4つだけ自分の好きな授業をとるはずなので、きちんと勉強すればこなせると思います。



大学外の活動について	1クォーターだけ地域ストリングスオーケストラに参加していましたが、自分のレベルに合わないことと、バスで練習に通うことが大変だったので辞めてしまいました。月に4回程度 Deaf Social に参加して、アメリカ手話の向上に努めるとともに、ろうや難聴の人との交流を楽しみました。また学校の ASL(American Sign Language)クラブでは Officer を務めイベントなども企画しました。
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと, アドバイス等	「このために留学する!」という明確な理由がないと、ホームシックになったとき、嫌な目に遭った時にモチベーションを保つのが難しいと思います。逆にやりたいことがはっきりしていると、特別なことをしなくても、ただ学校に通う毎日がとても充実して感じられると思います。私は自分のやりたいことが英語以外にはっきりあったのがとても良かったと思っていますので、留学前も留学中も周りに流されず自分のやりたいことをはっきりと決めて楽しんでください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	起床 8:00	起床 8:00	起床 8:00	起床 8:00	起床 8:00	起床 9:30	起床 9:30
	授業 9:30~	授業 9:30~	授業 9:30~	授業 9:30~	授業 11:30~		友人 と食事 12:00~
午後	授業 ~2:40	授業 ~2:40	授業 ~2:40	授業 ~2:40	授業 ~12:30	ASL グループ 12:00~3:30	
	買い物 4:00	ASL クラブ 2:50~3:50	自習 ~5:00	自習 ~5:00	ASL study group 12:30~1:30		自習 5:00~6:00
夕刻	料理、夕食 6:00~7:00	料理、夕食 6:00~7:00	料理、夕食 6:00~7:00	料理、夕食 6:00~7:00	Deaf Social 7:00~9:00	料理、夕食 6:00~7:00	料理、夕食 6:00~7:00
夜	自習 8:00~11:00	自習 8:00~11:00	自習 8:00~10:00	自習 8:00~10:00	レストラン 夕食 9:00~10:30		自習 8:00~11:00